

# 青少年「平和と交流」支援事業（HIROSHIMA and PEACE） 報告会の実施について

参加者名：三澤 里奈

派遣元加盟都市（国）：台東区（日本）

行事名	定期報告会 広島で学んだこと
実施日	2018/12/8
実施場所	城西国際大学 紀尾井町キャンパス
対象者 (属性・年齢等)	教授および学生
参加者数	70名
報告会の 概要等	<p>私の大学院では、自分の経験や論文の進捗状況を共有する報告会を年に4回開催しています。そこで、私は広島で学んだことについて語る素晴らしい機会を得ることができました。</p> <p>プレゼンテーションを行い、広島で撮影した多くの写真を共有しました。日本語で行った理由は、8割の参加者が日本人と中国人であったためです。</p> <p>正直なところ、中国人学生の前で日本の戦時中の歴史について語るということについて、私はとても心配していました。彼らはそれをどのように受け止めているのだろうか、日本人を恨んでいるのだろうか、という想いがありました。講壇に立つことは勇気が必要でした。そこで、私が思い出したことは、被ばく者が私たちに語ってくれたことです。若い世代の対話は、新しい平和への懸け橋になる、という言葉です。</p> <p>私は平素控えめな性格であり、教授の先生方は、平和実現に向けた私の活動を知り、とても驚いていました。広島を訪問する前は、私はあえて自分の活動を隠そうとしていた部分がありました。自分の信念を共有することが恥ずかしく、怖かったのです。核兵器と核エネルギーのない平和な世界を願う友人を作ることができて良かったです。彼らとの再会の願い、またこれからの具体的な活動計画と抱負を最後に述べました。</p>
その他 参考となる URL 等を記載のこ と。	

※写真は別ファイルで添付してください。

(提出先) 平和首長会議事務局  
E-mail: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

